

# 授業がもっとよくなる3観点 ねらいを明確にする

たとえば、**学習課題（問題）を黒板に示したのに**、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返って**みましょう。

ある  
  
個人追究が始まると、「今、何やるんだっけ？」とつぶやく。

  
追究をあきらめたり意欲を失ったりしている。

 **こんな姿も**

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から掘り下げてみましょう。

子どもに、ねらいが意識付いていなかったということはありませんか？

学習課題（問題）が、簡単過ぎたり、難し過ぎたりしていませんか？

 **こんな理由も**

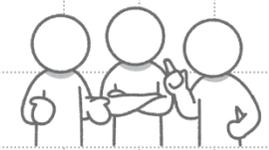
「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を見直してみましょう。



「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

（たとえば、こんな問かけで対話を深めていきましょう）

- ・「子どもの視点」に立って実践を見直したら、〇〇先生はどんな気づきがありましたか？
- ・「子どもの視点」から掘り下げて考えたら、こんな問題に気付いたのですが、〇〇先生だったらどう考えますか？



 **メモ**

Grid area for taking notes during the exchange.

**試みたいこと**

「ねらいを明確にする」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名 )



**長野県教員育成指標との関連**

「ねらいを明確にする」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈学習指導〉⑧〈指導方法〉Doに関連しています。